



FAX

送信先	発信元	野田
FAX:	送付枚数	1
TEL:	日付	2010年6月30日

用件： 元高・加工賃UP要因が及ぼす中国生産の将来展望について

いつもお世話になっております。下記の通りReport致しましたので、ご査収願います。

元高	リーマンショック後、金融のシュリンクを防ぐため、アメリカの通貨発行額と市場に流通させている金額の増加はご存知のことと思います。 ただアメリカだけでなくEU、日本はもちろんのこと、中国においてはその規模はアメリカに次ぐものだったと思います。この意味においては中国Marketはインフレ傾向を示していくと共に対ドル相場はこの1年間では、それほどの変動は無く5%内で推移していくものと考えます。また日本円に対しては同じアジア通貨と言ふことで、同じ基調を示していくと考えられ元の独歩高は考えにくいと思います。
加工賃の高騰	当社は糸からの手配で商売をしています。綿の相場も高騰しています。 原材料はほとんど全てにおいて10-20%の値上げを要求されています。 ご存知のように賃上げ要求は各工場に広がっていて、非常に問題があります。 (共産党指導のようにさえ感じられます。)またその値上げ巾も30% Up などの極端な感じもあります。ただ日本のことを振り返ってみて60年代後半から75年度の賃金は3万円から10万円ほどに急上昇していたはずで、 このようなことを考えても加工賃は今後2-5年の間に2倍ほどには最低なっていくと考えられます。 製品の価格全体としては15-20%程来年度はUPすると思います。<==今の状況考えますとこれで収まるか不安です。(7/13野田)
中国市場について	外需依存中心経済から内需依存型経済。今までほとんど外需向け生産に対して経済活動を行いそこから技術ノウハウを獲得し外貨を獲得し、そして内需型経済に移行していこうとしているわけですが大きな問題点があると考えられます。 与信の考え方です。貿易であれば外からの与信つまりL/Cが基本としてあるわけですから良かったわけです。内需のときはこれがありませんので非常に問題です。 銀行が中小企業向けに貸し付けを行わない、国営企業のみ。相互信頼の欠如。 強すぎる自己主張。ORDER時点の前金問題。今盛んに和階を宣伝していますがこれは10年ほどのロングスタンスで考えていくことです。 問題を抱えながらも苦しみながら変化を重ね、徐々に内需拡大になっていくと思います。ただ外需依存からの脱却は簡単には出来そうにないと思います。
FTAと消費税	先ごろ消費税10%がよく言われていますが、これはFTAと密接な関係があると思います。中国は17%の増徴税があります。税金の総額の減少は国も困るところと思いますので関税の撤廃と消費税のUPは同時実行されると思います。菅さんが突然のようにいっていることもFTAのスケジュールと関係しているのかもしれない。
縫製基地の移動について	当社は資材の調達SYSTEM(GreenBox)を使用していますので資材の分析はある程度の高さで実現されていると思います。 今般、既に日本での資材の生産はほとんど価格競争に負け、中国生産に移行しています。その復活も難しいものが有ります。現行当社の資材の70%ほどが上海近辺です。このような現状からCHINA PLUS ONEの国を模索するとき中国の資材を送り込むことが前提になると思います。資材の送りこむ船積地は上海中心になると予想されます。つまり残念ながら中国を抜きにしてSYSTEMの組み立ては出来なくなっている。そして資材の送り込みに対して中国と縫製国とのFTAはどうなっているかも調べていかなければなりません。確かベトナムとの間では今年の初めに締結されたと聞いています。関税障壁のある国は困難と思います。色々ITEMSによって違うと思いますがこのFTAの項目は重要です。CAPAの問題は別として最有力の国は現時点ではベトナムです。ただCAPAが取り合いになっていますのでORDERを切れ目無く流してCAPA確保できるか？SPOTでは難しく思います。 ベトナム以外の東南アジアを考えたとき果たして納期前提を150days-半年で考えられる商品はあるのか？ ベトナム経由カンボジア、ラオス？何年か後の北朝鮮？極東ロシア？ミャンマー？バングラ？色々あると思いますが時代の流れもありますので色々Checkして今後報告いたします。
当社の動き	当社の場合、自社開発素材を使用することが多いですので、なかなか上海を離れることができません。縫製地では、まず今取引している、それぞれの工場能力(価格も含めて)を再考しています。また新たな工場を探し(各ITEM10件以上)能力を測ります。さらに安徽省、黒龍江省、朝鮮自治区までもCheckします。またベトナムも今一度CAPA確保できるかどうかCHECKします。



FAX

送信先	発信元	野田
FAX:	送付枚数	1
TEL:	日付	2010年6月30日

用件: 人民币升值, 加工费上涨的因素及将来中国生产展望

いつもお世話になっております。下記の通りReport致しましたので、ご査収願います。

人民币升值	<p>金融危机后, 众所周知, 美元的发行金额和市场流通金额已经大幅度增加。除美国以外, 欧盟, 日本以及中国, 其规模也是仅次于美国。从这个角度讲中国市场有通货膨胀的倾向, 而且对美元汇率在这一年里应该不会有太大变动, 保持在5%之内。此外人民币和日元一样, 作为亚洲货币, 应该彼此不会相差太大, 应该不会出现人民币单独升值的情况。</p>
加工费上涨	<p>我司从纺织纱开始安排并进行销售, 棉花行情也是高居不下。原材料都有10-20%的涨价。各工厂普遍要求增加加工费, 现在已经是大问题。甚至会感到是政府在指导进行的, 另外有的增长幅度达到30%。但是回头看看日本的60年代末期至75年, 工资从3万元增长到10万元, 这样看来今后中国也会有同样的事情发生, 今后2-5年之内最低也会增加一倍。商品整体的价格明年可能会增加15-20%。<==现在看来能保持在这个水平已经是很不错的了。(7/13野田)</p>
关于中国市场	<p>从依靠外需经济转变为依靠内需经济, 至今为止通常是进行面向外需的生产, 从中得到的经验和外资。现在转型为依靠内需的经济模式, 我想会有大问题。就是商业融资的思维方式。贸易通常以, 来自外部的融资, 即信用证为基本。但现在内需型经济没有这一环节, 因此很成问题。银行不向中小企业贷款, 企业之间没有信誉, 过分强调自身利益良。下单时预付款的问题。现在虽然宣传和谐社会, 但估计这种状态要持续10年左右。带着这些问题内需会一点点扩大, 但一下子从依靠外需的经济类型中转变过来并不是那么简单的事情。</p>
FTA和消费税	<p>前一阵经常听到10%的消费税的消息, 我认为这和FTA关系密切。中国有17%的增值税, 税收减少国家势必要在别处弥补过来。因此0关税后消费税会同时上涨。菅总理突然说出的决定也许和FTA日程进展有关系。</p>
关于生产基地的转移	<p>我司使用SYSTEM(GreenBox)安排面辅料。对材料的分析有较高的水平。现在日本的材料生产已经基本败给中国, 生产全都转移到中国了。而且今后复活也很困难。我司的原材料有70%是在上海附近安排的, 这种情况下再找一个第三国, 由中国送去材料是大前提。而且主要是从上海为中心运出。因此很遗憾, 现阶段还不能离开中国完成生产流程。运送材料也要提前查清楚中国和生产国的FTA现状。听说是今年和越南之间已经建立了FTA关系。有关税阻碍的国家比较困难, 虽然根据商品略有差别, 调TA这一项很重要。如果不考虑工时的问题, 现在最有力的候补是越南。但是大家都在抢工时。能保证细水长流的订单吗? 要是隔三差五的安排生产估计就很困难。越南以外的东南亚国家的话, 有没有交期提前半年布置下去的订单? 或者经由越南, 柬埔寨? 老挝? 几年后北朝鲜? 远东俄罗斯? 缅甸? 孟加拉? 提案倒是很多, 也要适应时代的发展。我司得到进一步消息后再汇报给贵司吧。</p>
本司的动向	<p>我司使用很多自家开发的材料, 因此很难从江浙沪周边离开。在缝制地区, 现在首先是重新考虑工厂的能力(包括价格)。同时每种商品再找10家工厂, 看看实力如何。现在正在确认安徽, 黑龙江, 朝鲜自治区一带, 今后还要看一下越南是否有工时能接单生产。</p>